

2017年5月27日 土

13:30～16:30 (受付開始13:00)

エルおおさか南館5階 南ホール
定員200名

精神保健福祉法の改正が2017年に予定されています。国の検討会では「相模原市の障害者支援施設における事件の検証及び再発防止策検討チーム」の報告書(2016年12月)をうけて、「措置入院に係る医療等の充実」等が論点にあげられており、措置入院の長期化や退院後の監視の強化につながる改正になることが危惧されます。また、医療保護入院についても改正議論が進んでいますが、当事者の方々から「強制入院が増えるのではないか」等不安の声が聞こえてきます。

今回の記念講演会では、日本の精神医療について従前から批判的に検討されてきた原昌平さんをお招きし、相模原事件の本質と法改正案の問題点、精神科病院の人権状況、あるべき権利擁護システムについて、ご講演いただきます。

第1部 総会 どなたでもご参加いただけます。

(1) 2016年度事業報告

- 個別相談活動 藤原 理枝 (面会ボランティア)
- 訪問活動 山本 深雪 (当センター副代表)
- 政策提言活動 位田 浩 (当センター代表・弁護士)

(2) 2016年度決算

(3) 2017年度事業計画

(4) 2017年度予算

第2部 記念講演会

講師 原 昌平さん (読賣新聞大阪本社編集委員・精神保健福祉士)

精神保健福祉法改正を

どうみるか

2017年度 認定NPO大阪精神医療人権センター総会・記念講演会

事前申込をお願いします(先着順)。
申込方法は裏面です。

Supported by
日本財団
THE NIPPON
FOUNDATION

資料代
500円

主催 認定NPO大阪精神医療人権センター

会場

エルおおさか 南ホール

大阪市中央区北浜東 3-14 南館 5階
電話 06-6942-0001 (定員 200名)

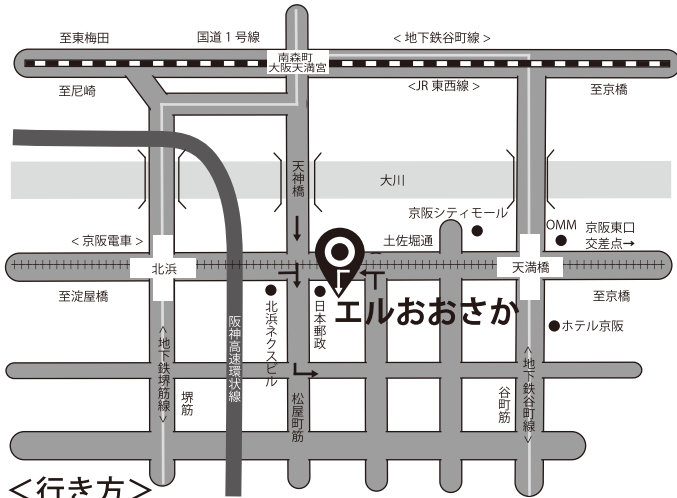
記念講演会

講師 原 昌平さん

読賣新聞大阪本社編集委員・精神保健福祉士



1982年、読賣新聞大阪本社入社。96年から医療と社会保障を主に担当。精神医療、貧困問題、医療事故、医療倫理などの取材・報道に力を入れている。ネットのヨミドクターのページに「医療・福祉のツボ」を連載中。相模原市の障害者殺傷事件では、報道のあり方や国の検討チームの議論に批判的に問題提起をしてきた。大阪府立大学大学院に在籍。「患者側から見た精神科の病院の人権状況」を研究テーマに、最近10年間の府内の精神科入院経験者を対象に量的調査を行い、修士論文としてまとめた。



<行き方>

地下鉄谷町線「天満橋」2番出口、
京阪「天満橋」14番出口より西へ300m

主催 認定NPO大阪精神医療人権センター
〒530-0047 大阪市北区西天満 5-9-5 谷山ビル 9F
TEL 06-6313-0056/FAX 06-6313-0058

お申込み

ファックス 又は Eメール

本チラシ(裏面)を参加申込書としてご利用ください
(Eメールの場合は以下の内容を明記してお送りください。)

FAX : 06-6313-0058

Eメール : advocacy@pearl.ocn.ne.jp

インターネット

認定NPO大阪精神医療人権センターの
ホームページにある「講演会申込み」から
お申込みください。



検索 大阪精神医療人権センター

<http://www.psy-jinken-osaka.org/>



こちらのQRコードから
お申込みいただけます。

5/27総会・記念講演会「精神保健福祉法改正をどうみるか」参加申込書

1. お名前：()
2. 当センターの 会員 又は 非会員 (いずれかに○をお願いします。)
3. 今後、当センターからのセミナー、講演会及び活動状況等の情報の送付を
希望する / 希望しない (いずれかに○をお願いします。)
4. 希望する場合のEメールアドレス：()
5. 電話番号：()
6. 「申込完了」返信先のFAX番号：()

大阪精神医療人権センター
FAX : 06-6313-0058 行
Eメール : advocacy@pearl.ocn.ne.jp

※申込みFAX・メール、インターネット申込みを送信された時点では、講演会参加申込みの受付は完了しておりません。

「参加受付票」という返信が届いた時点で申込み完了となります。あらかじめご了承ください。

申込み送信後5日たっても申込み完了のFAX又はメールが届かない場合は06-6313-0056までお問い合わせください。